

## 井上部会員からの意見

添付資料に私からの意見と、下記に追記意見を記します。

現在市内では経験の浅い施設長及び保育士だけで成り立っている保育施設が多数見受けられます。

特に小規模保育施設では多く割合で上記に該当する施設があり、全ての保育を受ける子供達が公平に安全、安心な環境とは言い難い物があります。

逆に公立保育園の良さと私立保育園の良さを上手く融合させて運営している現公設民営保育施設には今後公立保育園に代わって準基幹型保育施設のような立ち位置で公立保育園だけでは賄いきれない部分を大きくサポートしていく可能性に非常に大きな期待を抱くとともに、西東京市に古くからある私立保育園にも同様の力があると考えます。

前回の専門部会では公立保育園はあと2園の民営化が必要であると伺いましたが、その2園分の余剰職員だけで市内全ての園の質の確保を担うのではなく、上記のように民間施設とも手を取り合って、市内で困っている保育園を助け合うような事が望ましいと考えます。

また、認可外保育施設へのサポートも行っていただきたいと思います。

市の集団検診で行っているような離乳食講座、職員に対するレクチャー、給食、食材の質の向上等にも働きかけて貰いたいと思います。

そして何よりも保護者に対する心のケアはどの施設においても必要と考えます。公立保育園だけがセーフティーネットになるのではなく、準基幹型保育施設のような場所でも柔軟に受け入れられるよう、場合によっては市から職員を派遣する形でも、家庭に一番近く、負担のない場所で受入が出来る環境が望ましいと考えます。

もし今後残る公立保育施設のみがセーフティーネットの受け皿になるとなると、通う施設で事情が異なるといった、子供や保護者にとって不利益な憶測につながる可能性もあり、また、せっかく支援を受け、保育園で保護者同士の仲が良くなっても遠くの施設では小学生に上がってからまた新たな支援が必要になる可能性も考えられます。

子育て中は遠出が出来ない場合もあり、また、支援施設が遠い故に通うことが困難な家庭環境もあると思いますので、より身近な施設で相談できることが望ましいと考えます。

現基幹型施設のブロックは大きすぎて地域密着とは言えません。

公立だけでなく、民間と一緒に地域支援、そして、小規模保育施設などの支援を行える環境を求めます。

すみよしブロック(17園)  
 基幹型:すみよし  
 公設公営:ひばりヶ丘  
 公設民営:みどり、そよかぜ  
 私立:4園(1980、2013、2017年設立)  
 小規模:3園  
 家庭的:3園  
 認可外:3園  
 幼稚園:5園

ひがしブロック(7園)  
 基幹型:ひがし  
 公設公営:こまどり  
 公設民営:しもほうや  
 私立:1園(1981年設立)  
 小規模:1園  
 家庭的:0園  
 認可外:2園  
 幼稚園:3園

けやきブロック(18園)  
 基幹型:けやき  
 公設公営:西原  
 公設民営:田無、芝久保  
 私立:4園(1981、2007、2012、  
 2015年設立)  
 小規模:6園  
 家庭的:2園  
 認可外:2園  
 幼稚園:4園

なかまちブロック(11園)  
 基幹型:なかまち  
 公設公営:はこべら  
 公設民営:ほうやちよう  
 私立:2園(2012、2017年度設立)  
 小規模:3園  
 家庭的:2園  
 認可外:1園  
 幼稚園:2園

やぎさわブロック(20園)  
 基幹型:やぎさわ  
 公設公営:向台  
 公設民営:ひがしふしみ  
 私立:6園(1970、1949、2011、2015、  
 2016、2017年設立)  
 小規模:4園、事業所内:1園  
 家庭的:0園  
 認可外:6園  
 幼稚園:2園

現ブロック分けには保育園数に偏りがあり、  
 地域も広すぎる区分けのため、気軽に足を  
 運べるような環境とは考えづらい





